

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより 6月号

令和5年5月31日（水）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 吉野 利彦

本物との出会いによる 心の躍動

雨上がりの木々の緑がより美しく輝く季節となりました。保護者や地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

学校では、3日後に迫った運動会に向けて、各学年とも、最終段階の練習に入っています。当日は、子どもたちの輝く素敵な姿をたくさんお見せすることができると思いますので、保護者や地域の皆様方のご来校を、心よりお待ちしております。

さて、5月15日（月）には、茅ヶ崎市の姉妹都市であるホノルルとの交流事業の一環で、ハワイ在住のサーフアーティストであるクリスティ・シンさんを本校にお迎えし、3年生の子どもたちに絵画教室を実施していただきました。ハワイの代表的な花である「バード・オブ・パラダイス」（和名：極楽鳥花）を含め3種類の花の絵を描きましたが、プロのアーティストのアドバイスを受け、子どもたちは、心を躍動させながら、思い思いの色のクレヨンを用紙に走らせていました。

給食もクラスで一緒に食べていただき、子どもたちにとっては、とても貴重な経験をすることができました。

今回の絵画教室を通して、子どもたちが『本物』と出会うことの大切さを改めて実感いたしました。



嬉しいお手紙をいただきました

1年生の保護者の方から、次のような内容のお手紙をいただきましたので、ご紹介いたします。

朝起きたときから子どもがぐずっていて、なんとか下駄箱まで連れていきましたが、下駄箱からは全く動こうとせず、私（母）にしがみついていた。すると、6年生と思われる女の子と男の子数名が、「どうしたの？」と声をかけてくれました。子どもが答えられなかったので、私が、「学校に行きたくなくて、動けなくなっちゃったんだ。」と答えると、その子たちが、「わかるよ。私もそういうときあったよ。大丈夫だよ。頑張ろう。」と声をかけ続けてくれました。ずっとそばで寄り添ってくれた優しさに感じました。本当に嬉しく、ありがたかったです。（中略）

入学式で、校長先生が子どもたちに、「困っている子がいたら、どうしたの？と声をかけられるようになってください。」とお話しされていたことを思い出しました。実際に、茅ヶ崎小学校の子どもたちが、困っている子に、何のためらいもなく、声をかけて寄り添うことができるのを体験して、びっくりすると同時に感動するできごとでしたので、共有させていただきます。

茅小の子どもたちの心に、相手を思いやる優しさが広がっていくことを切に願っています。